

浜名湖グラフィティ in 2012 Summer

この夏、素晴らしい浜名湖を五感体験で満喫しました！



浜名湖の今を世界へ発信！ 浜名湖Liveカメラ



浜名湖クラブ会員名簿

平成24年9月30日現在 順不同 敬称略

正会員 法人・団体

須山建設株式会社
総合警備保障株式会社
日本ビニロン株式会社
西日本電信電話株式会社
浜松信用金庫
フロイント産業株式会社
株式会社ユーシン
株式会社太平エンジニアリング
株式会社浜名湖国際頭脳センター
メディアミックス株式会社

賛助会員 法人・団体

中日新聞東海本社

正会員 個人

内田 重男 水島 加寿代 宮角 良介 徳山 博子 上田 芳伸
鈴木 建也 中村 公之 内山 正子 高橋 秀樹 近藤 良夫
堀田 孟

賛助会員 個人

和泉 潤	伊藤 道明	前田 修	藤田 千恵子	中野 眞
荒木 伸幸	内野 浩三	鈴木 啓三	佐藤 伊佐務	外山 晴一
中村 保	久米 司郎	佐口 征男	竹内 義臣	佐竹 玄吾
小林 純一	山口 悦子	桑迫 仁志	桑原 連吉	金田 国久
常吉 俊宏	村松 貴通	宮地 純夫	石川 純	中山 千恵子
梶村 春彦	池畠 蓉子	柳原 一貴	岡田 剛	濱田 耕作
小野澤 隆	岩井 久考	宇佐見 靖	関 伸一	鈴木 卓司
立元 稔章	下石 鐵夫	中西 敬宏	高山 守人	徳山 清子 (家族会員)
中川 貞夫	古橋 武司	高橋 孝子	守屋 憲一	
中野 寿弥栄	小杉 邦雄	熊田 博仲	齋木 英夫	
浅沼 宏和	伊藤 賢	木下 英洋	小林 聡	
藤田 明宏	河島 清子	古橋 一哲	溝口 久	

住所、連絡先、担当者様などが変更となる場合は事務局までご連絡下さい。

NPO法人
浜名湖クラブ

会 員 募 集

どなたでもクラブ会員になることができます。
会報誌、メールマガジン、イベント参加費割引等
うれしい特典がいっぱい！〈入会金無料〉

〈正会員〉

クラブの運営や企画に積極的に参加
してみたい方。議決権があります。

- ◎法人・団体会員 年会費 50,000円
- ◎個人会員 年会費 10,000円

〈賛助会員〉

クラブの催しに積極的に参加して
みたい方。議決権はありません。

- ◎法人・団体会員 年会費 30,000円
- ◎個人会員 年会費 3,000円
- ◎家族会員 年会費 2,000円
(個人会員と同居を同一とする家族全員)

〈お申込み方法〉 ●お申込は入会申込書を郵送、FAX、メールでお送りください。入会申込書はホームページよりダウンロードできます。
●会費の納入手続きについては、事務局より追ってご連絡いたします。

〈寄付のお願い〉 ●当法人の活動に賛同し、ご支援いただける寄付についてもあわせてお願いします。

〈編集後記〉

「浜名湖には竜神が住む！」私は自分の鈍い直感で、勝手にそう信じています(笑)。それをこれからゆっくりじっくり根拠づけてみたいと思っています... (水)

夏はまさに浜名湖の季節。たきや漁や浜名湖クルージングで訪れた浜名湖は、改めてその魅力を実感するばかり。「灯台下暗し」とはよく言ったもの。まだまだ知らない浜名湖にドキドキ。(建)

「コラム・浜名湖ラム」
本号より理事上田がコラムを連載します。
浜松に棲みついて34年、最初は何時まで居られるかと高をくくっていたのですが、どうしてか、居食住、どれを取っても、何かに残るものが有ります。ストーリーを楽しく環境が、至る所にあります。どうも、生まれ育った人は、当たり前になっている様で気づかない。
浜名湖を中心に、こじかないものの意味のあるもの、時代を超えたもの、自然が織りなすもの、長年培ってきたものを、よそ者が発言しなくてはと思っています。

「会報誌『HAMANAKO NEWS』上で紹介する企業・個人の会員さんを募集します！」
本会報誌の今後の企画として、会員さんを紹介するページを検討しています。所属する会社の紹介、歴史や製品、サービスについて、参加しているNPOや団体の活動紹介やイベント告知など、個人で自分史的な掲載もOKです。興味のある方は、事務局までご連絡下さい。

事務局便り・お知らせ

学ぶ、再発見する、めぐる、

秋の浜名湖五感体験。

さらに浜名湖周辺の魅力を五感体験。

新たな地域資源との出会い！

マリノ産業、発祥の地。その歴史と変遷を学び、新たな楽しみ方を模索！



7月にたきや漁で浜名湖の恵と伝統の漁法を感じ、8月には交通路としての舟運を体験し、浜名湖に触れてきました。



五感体験教室 「浜名湖発！マリノ事業」 ～マリノ産業・レジャーを体験！！～

日時 2012年10月19日(金) 12:50から2時間程度
 集合場所 ヤマハマリーナ浜名湖 駐車場
 内容 ヤマハ発動機マリノ事業、マリノ産業の変遷と今後
 ヤマハ発動機ご担当者より
 ヤマハ発動機製船試乗体験&マリーナ見学
 マリーナご担当者より
 参加費 会員：500円、一般：1,000円
 定員 20名
 その他
 雨天決行。革靴、ハイヒールは危険ですので、スニーカーなど、乗船出来る格好でお越し下さい。
 乗船中、濡れる可能性がありますので、タオルなどご用意下さい。

五感体験教室 「体験！たきや漁」



7月29日(日)に五感体験教室「体験！たきや漁」を開催しました。
 たきや漁は、この浜名湖に100年以上続く伝統的な漁。水中灯を船の先に灯し、モリでカニや魚を突いたり、アミでエビをすくったりする原始的な漁を体験することができました。
 当日は、会員だけでなく一般の方もご家族で参加して頂きました。
 19時過ぎの日没後に乗船。約2時間程、弁天の鳥居付近、渚園北側、ガーデンパーク南側など、案内をしてくださる漁師さんの経験と勘で、漁場を移動します。
 最初はなかなか上手に獲ることができなかつた人も、次第にコツをつかんできました。カニ、サヨリ、イワシなどの他、大きなクロダイまでゲットすると、船上は大盛り上がり。
 そんな興奮冷めやらないうちに、釣果を乗せて、湖面上に設置された宴会会場へ向かいます。
 そこで、漁師さんが獲れたてのカニや魚を、次々料理してくれるのです。天ぷら、から揚げ、カニの塩茹でやお味噌汁。地元の上で、新鮮な浜名湖の幸を自らゲットし、その場で頂く。なんと贅沢な夏の宴でしょう！さらに、月明かりに照らされた湖面を快走する船上から観る夜景もたきや漁の大きなお勧めポイントです。

五感体験教室 「奥浜名湖の魅力再発見！」 ～今、注目を浴びる「井の国」奥浜名湖！～

日時 2012年11月23日(金・祝日) 9時～16時30分
 集合場所 遠鉄百貨店南側バス乗り場
 内容 遠鉄百貨店南側バス乗り場 「宝林寺」拝観・見学(35分)
 「NEOPASA 浜松SA」トイレ休憩・施設自由見学(20分)
 新東名高速道路で三ヶ日へ 「和ルナ・杜のふう」昼食(75分)
 「大福寺」拝観・見学(35分) 「摩訶耶寺」拝観・見学(35分)
 「長坂養蜂場、入屋」お土産購入(30分)
 遠鉄百貨店南側バス乗り場
 参加費 会員：3,500円、一般：4,500円
 バス代+昼食+拝観料込
 定員 23名
 その他 理事・水島のお寺ガイド付。

秋の紅葉を眺め、新東名を利用した奥浜名湖魅力再発見ツアー！



4月に新東名が開通し、注目を浴びている当地域。三ヶ日、引佐、細江、奥山など、自然と歴史が織成る風景、地元食材を使った数々のグルメ、湖を眺める宿泊施設など、地域資源の宝庫。今回は、「湖北五山」と呼ばれるお寺を中心に奥浜名湖地域を貸し切りバスでめぐります。新たな魅力を再発見して下さい。



五感体験教室 「浜名湖クルーズ」



8月23日(木)は五感体験教室「浜名湖クルーズ」浜名湖の舟運を考える」を開催しました。
 まずガーデンパーク「体験学習館」で、浜名湖地域舟運都市構想研究会の松浦真人氏から「浜名湖の舟運構想」、静岡大学戸田三津夫氏から「佐鳴湖流域を安定同位体メカネでのぞく」について、お話頂きました。
 浜名湖は1498年の明応地震で今切ができたことで、舟運が重要となってきた歴史や、現在、舟運研究会が、浜名湖流域の河川舟運を軸にしたまちづくりを研究していることを詳しく知ることができました。佐鳴湖も、汚いと言われた時代は過去のこと。それどころか、何か機械に頼ってきれいにするのはなく、湖独自の力で改善している自力改善力がとても優れていることを知って嬉しくなりました。佐鳴湖は汚いではなく、栄養度が高すぎて「メタボ」状態であること。だからこそ、多種多様な生態系があることも理解できました。
 お話の後には、いよいよ実体験、浜名湖をぐるりとクルージング周遊です。東西南北、浜名湖から見る景色は美しく、地域それぞれの魅力がいっぱいあることを改めて実感できました。浜名湖も佐鳴湖も、もっともっと地元の人たちが興味を持つことで、さらに身近な存在として輝くに違いありません。そう実感できた1日でした。

五感体験教室 「天竜浜名湖線、西ルートを巡る」 ～冬の沿線見所を立ち寄ります～ 夜は街中で、忘年会を開催！

日時 2012年12月10日(月) 12時10分～16時30分
 集合場所 新所原駅
 内容 12:10「新所原駅集合」 12:22発「新所原駅(車内で昼食)」
 13:41着「天竜二俣駅」 5分(徒歩移動)
 13:50 転車台見学(約30分) 5分(徒歩移動) 14:41 発天竜二俣駅
 14:52 着宮口駅 15分(徒歩移動)
 15:05 花の舞酒造見学 見学&試飲(約1時間) 15分(徒歩移動)
 16:23 発宮口駅 16:29 着西鹿島駅
 参加費 会員：3,500円、一般：4,000円
 昼食のお弁当+転車台見学料+天浜線・赤電乗車券込み
 忘年会の開催について
 日時 平成24年12月10日(月) 18時～20時
 参加費 5,000円 場所 「味の木下」浜松市中区田町324-24
 忘年会からの参加もOK。お申込の際にお申し付け下さい。

見て、食べて、呑んで、知る、浜名湖クラブが提案する天浜線のめぐり方



新所原駅から天竜二俣駅までの西側で、約半日で楽しめるコースを設定。一番感じて欲しいのは素晴らしい原風景。懐かしい風景は、映画の撮影にも良く利用される。それと、一度は見えておきたい転車台での車両の反転。忘年会シーズンでもあり、花の舞酒造に立ち寄り、蔵見学と試飲も体験。



浜名湖豆知識 その4 水産業

浜名湖の水は、海水に近い塩分を含む水質であるため、漁獲物も海で獲れるものと同じ種類がほとんど。中でも、アサリが90%以上を占めています。漁業の中心となっている湖南部は、浅い砂の海底がほとんどで、アサリ等の二枚貝が棲むのに適しています。また、浜名湖の面積は限られていますから、漁獲量を全国的にみるとそれほど多いとは言えません。しかし、面積は狭くても、面積あたりの漁獲量は全国的にも多く、豊かな漁場となっています。例えば、2005年のアサリ漁獲量は3,736tですが、1平方kmあたりに換算すると、約50.4tの漁獲があったこととなります。アサリの漁獲量が現在日本一の三河湾でも、1平方kmあたりでは約11tの漁獲(2005年)と計算されるので、単位面積あたりでは三河湾の約5倍のアサリが獲れることとなります。



応募作品募集中 締切 12月31日(月)必着

浜松市北区地域力向上事業
浜松の浜名湖 2012
アートフォトコンテスト 最優秀賞 10万円
 あなたが見つけたアートな北区を教えてください。

テーマ 北区新発見
 北区内で撮影した当地域の魅力を伝える、風景、名所、祭り、町内、人物等を被写体とし、写真表現の可能性、芸術性を感じる写真を募集。
 詳細は、浜名湖クラブホームページへ。
 お問い合わせ先
 〒431-1207
 浜松市西区村柳町4598-9(株)浜名湖国際頭脳センター内
 NPO法人浜名湖クラブ「浜松・浜名湖アートフォトコンテスト2012」係り
 TEL 053-484-4000 FAX 053-484-4001
 MAIL info@npo-hamanakoclub.jp
 URL http://www.npo-hamanakoclub.jp